

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
26	27	28	29	30	1 コールやしろ9:30~ 老人クラブ13:30~ スポーツ教室 ヨガ 19:00~	2 防犯連絡協議会 運営委員会 19:30~
3	4 交通安全部長会 19:30~ しゃぼん玉 19:30~	5 給食サービス5班 9:00~ サンプラー会 13:00~	6 すみれ会 14:30~ 厚生部長会 19:30~	7 健康づくり教室 (ヨガ) 10:00~	8 コールやしろ 9:30~	9
10	11 社句会14:00~	12 男の料理教室 9:30~	13 すみれ会 14:30~	14 はつらつ教室12:30~ 元気体操 13:30~	15 コールやしろ 9:30~	16
17 やしろ五輪まつり 準備 13:00~	18 海の日	19 給食サービス6班 9:00~ 川柳選句会9:30~ サンプラー会20:00~	20 やしろカフェ寄り所 10:00~ すみれ会 14:30~	21 主事研修会 9:30~ 川柳会13:30~	22 コールやしろ 9:30~	23 第31回 やしろ五輪まつり 16:00~
24/31	25	26	27	28 はつらつ教室 12:30~	29 コールやしろ 9:30~	30

6月24日現在



お見事!!

倉吉市消防ポンプ操法大会
社分団完全優勝

6月5日(日)福守町の防災センターにて倉吉市消防ポンプ操法大会が開催され、我が社分団は小型ポンプ作法の部に出場し、十三隊の中で優勝することができました。3年前の優勝、2年前の準優勝から再度、我が社地区に優勝旗を持ち帰ることができました。

今回優勝出来たのも隊員の意気込み、団員・ご家族の方・西倉吉消防署の方々のご協力、ご指導の賜と感謝しております。

尚、7月3日(日)鳥取県消防ポンプ操法大会が米子で開催されるにあたり、我が社分団は倉吉市の代表として、良い結果を出せるよう精一杯頑張ってきました。今後も日々練習に励み、地域住民の皆様の安全・安心を守る力強い社分団になるよう頑張りたいと思っておりますので、皆様のご協力宜しく願います。

【総合成績】
▽優勝(社分団)▽準優勝(上井分団)▽3位(上小嶋分団)

【個人成績】
◇指揮者二位(福井隆彦 社分団・国府)
◇一番員二位(河本大志 社分団・横田)
◇二番員二位(山田大樹 社分団・福光)
◇三番員二位(船山三道 社分団・横田)
◇補助員(吉田祐介 社分団・横田)※補助員成績はありません。

ありがとうございました
金一封
長田 憲一様(国府)
(故)父 強文さん
八十六歳
社公民館施設充実費として

「五輪さん」 供養を皆様とともに

おしほ 五輪まつり

第31回

7/23 開催

皆様のご参加をお待ちしております

福光焼河本さんを講師に 焼き物づくりに挑戦

6月15日(水)、社公民館主催事業「陶芸教室」を開催しました。今回の講師は、福光焼の河本賢治さんでした。

はじめに河本先生より分かりやすく説明をして頂き、一人ひとりイメージを膨らませながら作品を作り上げましたが、なかなかイメージ通り出来ず……8割ぐらいは修正してもらい……(笑)とっても素敵な作品が出来ました!

河本先生ありがとうございました! 焼き上がりが楽しみです☆



やしろ公民館報 402号
平成28年6月30日発行
編集発行/社公民館・館報専門委員会
鳥取県倉吉市国分寺74-1
TEL. 0858(28)2155
FAX. 0858(28)6031



いよいよスタート

6月3日(金) 10時から森下北谷公民館長を講師に5回シリーズで歴史をひもとくまるごとやしろ講座がスタートしました。第1回目は、「台地の狩人 中尾遺跡から」と

歴史をひもとくまるごとやしろ講座

題してどっぶり1万2千年前の話に引き込まれました。「倉吉に旧石器時代の石が出た!」これが細石刃石核(さいせきじんせつかく)ナイフ型のものらしいとのこと。

旧石器時代の社地区や近隣の人々の様子や県内初の出土品、黒曜石が国府型ナイフ形石器で、当時、狩猟によって肉類を食べたとのことです。1万年前の縄文時代は土器の

今年、「音の箱シリーズ」は会場を杜小学校に移し5月28日(土)、わらべ館から童謡コンサートソリストをお招きし、童謡・唱歌を保育園児も含め、小学生から地域の方まで大勢で鑑賞しました。ステージ上には鳥取県出身の作曲家岡野貞一と田村虎蔵の二人が写真で紹介され、ソプラノ歌手山尾純子さん・ピアニスト野口慶子さんによって童謡・唱歌の美しいメロディーと歌詞が披露されました。賛助出演としてコールやしろうさんにも出演していただき温かい響きに包まれました。

今年もプロ野球開幕し2カ月が経過し交流戦もスタートしました。我が阪神タイガースも6月3日現在3位とまずまずの成績で交流戦に突入しました。今年の阪神で一番違うのは金本監督となりチームの活性化が図られ非常に若いチームに変わったなと感じるところ

「今年のプロ野球」安達直和(西福守町)です。また、単に若返っただけでなく今までレギュラーを張ってきたベテランにも刺激があり選手の目のやる気というか伝わってくるものがあり、非常に楽しく試合観戦ができております。子供も中学1年生と4年生になりバスケが続いています。新しい風をチームに吹かすことができないものかと期待し見守っています。

一方私はプロ野球選手で言うところのベテランと呼ばれる年代になりましたが、藤川球児が今シーズン初めて登板した時の熱い魂に心が揺さぶられました。子供たちに期待するばかりでなく、私も新しいものに挑戦し若者(子ども)の手本になれたらと考えるこの頃です。次は不入岡の生部秀美さんです。

出土したナイフ形石器 鳥取県庁ホームページ「第93回県史だより」より引用



第1回「ペーやしろ」27人の若者が参加

社公民館研究指定事業 企画委員会、運営委員会を通して検討を重ねたやしろの若者によるイベント・第1回「ペーやしろ」が5月29日(日)社公民館を会場に開催され、スタッフも入れて27人の若者がゲームを楽しんだ。子ども連れの参加者もあり、託児室も設けられた。

社公民館に「涼を求めて」ご参加下さい。 ☆学校の夏休みも始まり、登山や海水浴に人々が出かける夏本番の始まりです。動物も植物も生命感に溢れて見えます。時候は晩夏です。 次回の社句会は、7月11日(月)午後2時開会。 社公民館で開催します。俳句同好の皆様もどうぞ公民館に「涼を求めて」ご参加下さい。

「ねじ」 頭のネジ時々締めてゆったりと 巻きもどし出来たらいいな人生も ねじ一個合わせる場所が分からない 久しぶりねじのゆるんだクラス会 ねじ山が欠けてガタガタ我も似る 錆たねじ二合の酒で緩みだす 生活のリズムもねじの巻き具合 八十路来て生活のネジかけ忘れ 都知事さんネジがゆるんでいましたね 正 しっかりねじ止めたいこの絆 ばあちゃんの大事なネジはじいが持つ 賀寿恵 緊急時古びたねじも役に立つ 伊藤一七子 ねじ山の心身のネジ緩まない 伊藤一七子 ねじ巻けど緩んだタガは締まらない 春 優

佳代子 吹苑 瑛子 智子 みえこ 理子 哲夫 登美子 雄大 シゲヨ 太介 正 すみれ 賀寿恵 たか子 けいこ 春 優

社句会 220

社川柳会 360



花壇にポーチュラカ、ビンカを植える。

公民館前の花壇ボランティア、6月20日の暑い中、冬を乗り越えたパンジーからポーチュラカとビンカへと植え替え作業を終えました。今回はプランターにも植え、公民館がより一層花に包まれました。

大谷茶屋A vs 大谷茶屋B 初の町内決戦

6月12日(日)、田植えが終わった水田に囲まれた杜小学校体育館において、社地区第16回ソフトバレーボール大会が開催されました。今年から6人制から4人制へと、また、チーム内に女性か50歳以上の男性の参加が義務付けられ、出場内容が変わりましたが、参加数が増え、加えて会場全体が子供連れのお母さん方や、若い女性も多く、昨年までとは違った大会になりました。

決勝戦は同じグリーンのポロシャツと、のぼり旗で臨んだ大谷茶屋Aと大谷茶屋Bという町内同志の戦いとなりAが接戦を勝ち抜きました。牧協議会長(大谷茶屋館長)から優勝トロフィーが渡されると、まるで大谷茶屋が会場を占拠したように大きな歓声が上がりました。3位には国府と和田東町が輝きました。(小谷体育部長)



【大会成績】 優勝 大谷茶屋A 準優勝 大谷茶屋B 3位 国府、和田東町



わらべ館からソプラノ歌手を招き、童謡・唱歌を聴く 音の箱シリーズ

今年、「音の箱シリーズ」は会場を杜小学校に移し5月28日(土)、わらべ館から童謡コンサートソリストをお招きし、童謡・唱歌を保育園児も含め、小学生から地域の方まで大勢で鑑賞しました。ステージ上には鳥取県出身の作曲家岡野貞一と田村虎蔵の二人が写真で紹介され、ソプラノ歌手山尾純子さん・ピアニスト野口慶子さんによって童謡・唱歌の美しいメロディーと歌詞が披露されました。賛助出演としてコールやしろうさんにも出演していただき温かい響きに包まれました。



今年もプロ野球開幕し2カ月が経過し交流戦もスタートしました。我が阪神タイガースも6月3日現在3位とまずまずの成績で交流戦に突入しました。今年の阪神で一番違うのは金本監督となりチームの活性化が図られ非常に若いチームに変わったなと感じるところ

「今年のプロ野球」安達直和(西福守町)です。また、単に若返っただけでなく今までレギュラーを張ってきたベテランにも刺激があり選手の目のやる気というか伝わってくるものがあり、非常に楽しく試合観戦ができ

一方私はプロ野球選手で言うところのベテランと呼ばれる年代になりましたが、藤川球児が今シーズン初めて登板した時の熱い魂に心が揺さぶられました。子供たちに期待するばかりでなく、私も新しいものに挑戦し若者(子ども)の手本になれたらと考えるこの頃です。次は不入岡の生部秀美さんです。